

さわやかさ

小野末弘さん・野中



野中地区に出来たテニスコートに集うクラブの初代会長に。つい先日、二人目のお孫さんにも恵まれハッピーな小野さん。



畠田留子さん・十四

きながんら、陸上、水泳、登山など意欲的にこなしていいる活発な方です。

働き始めてしばらくは、あまり運動してなかつたのです。が、やどもと体を動かすのは好きだ」と何かやううと思つて三年ほど前に走り始めました。いろんな大会に出ていますよ。友達が増えて楽しいです。体も丈夫になつたみたいだ。今は走ることに夢中です。

他にも、休みの日にはマウンテンバイクで出かけたり、週一回は板橋区道の練習をしています。レンジクリシングなんかも面白いですね。



生まれ育った大分県はテニスが盛んな土地柄。子供のころ軟式テニスの試合に出たことも、大阪での会社勤めのころ、ゴルフや野球などで日曜日に家にいた例しがないほどのスポーツ好き。

妻の故郷である鹿児島市に来たのです。好んで知人も少なく退屈していたおり、スクール生の募集を知り十足で応募しました。

之助、また融和運動の指導者であった山本政夫らの呼びかけによつて、全国の部落の代表者が京都に集まり、「部落解放全国委員会」が結成されました。

高知県でもその年の八月、「部落解放高知県委員会」が設立され、委員長に森岡深太郎が選ばれています。

この全国委員会は、全国本平社の運動をひきつぎ、いっさいの差別をなくし、民主的な社会をつくることを確認しました。

一方、戦後の食料・住宅不足、インフレによる生活の苦しさは、部落だけではなく多く

高らかにうたいあげた日本国憲法が制定されました。

苦難の生活に耐えてきた部落の人びとに、基本的人権と民主的な活動を保障する新しい憲法が制定されたのです。これは部落の人びとに、差別からの解放と、自由で平等な明るい社会実現の希望をもたらしました。

多くの国民が経験しましたが、
経済的基盤の弱い部族の人々
とは、特に厳しい生活にお
こまれました。

また、解放運動の指導者たちは部落解放の活動が自由にすすめられると歓呼をもつて迎えました。

同和教育
シリーズ

有地を持つ農家にしか適用されませんでした。そのため、農村にあっても差別によってごく零細な自作地しか持てなかつた部落の農民たちは、農地改革の恩恵にあずかることはできませんでした。

高らかにうたいあけた日本国憲法が制定されました。

人の一部の人にはすぎず、せつがくの農地改革も部落を乗り通りました。しかも政府は、わずかな農地を耕作している部落の農民たちにも酢味な米の供出を割当ててきましたので、農村部落にあつてもその生活は絞りい状態でした。

戦後の解放運動・教育・行政が
どのように行われたか

1